

<p style="text-align: center;">Devotion Guide/ユースマナ</p> <h1 style="text-align: center;">Youth Manna</h1> <p>マルコ1:35 さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/11(月)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ3:16-21</h2> <p>Q1. 16節のみことばをノートに書いてみよう。神様は誰を愛されたと言っているかな？ Q2. 18節から～ さばかれる者、さばかれない者の違いは何かな？ イエス様が来られたことによって、律法を守らないと救われない「古い契約」から、「新しい契約」が私達に与えられた！それは、神様が「ユダヤ人以外を含む”世”」を愛し、しかも御子を信じることによって救われるという私達と神様の約束だよ。 新しい契約を結んだ者として、神様は私達に闇の方ではなく（20v）光の方に来るように（21v）勧めている。今日、神様に打ち明けられることはあるだろうか？もし神様に祈れなかったら、家の教会の友達に話してみよう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/12(火)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ3:22-36</h2> <p>登場人物の気持ちを想像しながら22-30vまで読んでみよう！ 1) 26vを読むと、ヨハネの弟子たちの気持ちに近いのは次のうちどっちかな？ → a 喜んで応援 b 嫉妬し対抗 2) 30vのヨハネの答えからは上記a,bのどっちを感じるかな？ 3) きみは、自分にもヨハネの弟子たちのような気持ちがあると感じることはあるかな？ 他の人が自分よりも活躍したり注目されると悔しい気持ちになることがある。そういう時こそイエス様や家の教会で話すと良いよ。きっと力をもらえる！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/13(水)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ4:1-15</h2> <p>自分と弟子の存在がユダヤ社会に波紋を呼んでいることを知って、イエスはユダヤを離れガリラヤに向かった。サマリヤ人は、ユダヤ人にとっては汚れているとされており、イエスがサマリヤを通ったことは、福音がすべての人のためであることを象徴している。 イエスは、水汲みにきたサマリヤの女に声をかけ、「私に水を飲ませてください」と言われた。この時代のユダヤ人の意識からすれば、驚くべきイエスの愛であった。イエスの願いは、この女に「いつまでも決して乾くことが」ない水を与えることだった。イエス・キリストを救い主と信じ受け入れることによってただく永遠のいのちこそ、乾くことのない泉を得、他者を愛することを可能にする道である。 本当に求めるべきものを求めることができるよう祈ろう！</p>
<p style="text-align: right;">2022/7/14(木)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ4:16-26</h2> <p>私たちは聖書から真理を学び、神様の価値観で生きる必要があるが、聖書解釈の正解が分からない部分もある。 今日の箇所19.20節の女のことばも、みことばの光では、問題をすり替えようとしての発言とあるがどこからそうなるのか疑問の部分がある。また注解書ではそれを否定している意見もある。 少なくとも、当時のユダヤ人とサマリヤ人との間では、礼拝するためのふさわしい場所が議論されていた。今はイエスの十字架を通して場所は関係なく、私たちはどこでも礼拝できるようになっている。 神様の真理を求めよう。 救いを知らない人たちのためにできることはなんだろうか？ 仲の良い友達もまだ未信者の家族も、このままでは待っているのは地獄である。 まずは祈ることから始めよう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/15(金)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ4:27-42</h2> <p>▶イエスによって自分の状況を言い当てられた(18)サマリヤの女は、イエスとの会話を通して真理を発見した(26)。すると、水をくみに来ていたはずのサマリヤの女は、水がめを置いたま、人々にメシアの存在を知らせるために急いで町に帰った(28)。彼女の興奮が伝わってくる。 ▶サマリヤの女の話聞いたサマリヤ人たちは【彼女の事ば】によって信じた(39)。そして、イエスのもとにやってきて(30)、直接イエスの言葉を聞いた(40)。そしてさらに多くの人たちが【イエスの事ば】によって信じた(41)。 ▶サマリヤの女は1人で水をくみに来たくらいだから、周りからは良く思われていなかったかもしれない。しかし、彼女のことばによっても信じた人がいた。主の働きは私たちの想像を超える。主の働きに期待しよう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/16(土)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ4:43-54</h2> <p>今日の箇所では、イエス様のわざを見て心を開いた人々、再びガリラヤのカナに来たイエス様、そこに息子の癒しを求めて来た王室の役人が出てくるね。 イエス様を信じることは素晴らしいことだけど、何かの形を見ないと信じられない私たち人の弱さも確かにある。でもイエス様はそれに対して悲しみも覚えつつも、知っていてくださることがイエス様の言葉からわかるね。役人の息子のことも、直接行ってその場で癒すことをしなくても、「治ります」と語ったことがその通りになっていた。 私達も結果が目に見えない時もそこにいるイエス様を信頼していこう。イエス様のみことばの約束が確かになることを感謝して受け取ろう！</p>	<p style="text-align: right;">2022/7/17(日)</p> <h2 style="text-align: center;">ヨハネ5:1-18</h2> <p>今日読んだ箇所を書いてあったベテスダの池は、以前は獣げ物を洗ったり、礼拝者の沐浴の場所だったが、イエス様の時代には病人たちが集まってきて横たわる場所となっていた。なぜならそこには7節で書かれている言い伝えがあったからである。イエス様は38年間病気にかかっている人を見て「良くなりたいか」とあえて問いかける。そのうえで、この人が最も必要としている完全な癒しがなされた。 しかし、ユダヤ人たちは人生の大半を病気で苦しんできた人が癒された喜びをともにせず、「安息日に律法を破った犯人イエス」を非難することに必死になった。 教会の交わりにはさまざまな弱さがある。私たちは本物の同情心を持っているのか、仲間作りのために誰かを利用しているのかを、神様との交わりの中で自分に問わなければならない。 祈り：神様を愛する交わりから私たちが外れることのないように助けてください。</p>

